

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名：株式会社ケーター

2 取組状況について

(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景

積極的に家事をしている社員に子供が生まれたので、更に育児にも協力できる時間を作ってあげたいと考えていた

(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組

就業規則を整備し周知する事で、取得しやすい雰囲気づくりを作った

(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点

本人が休業中に業務停滞の心配があり、上司同僚がフォロー

(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと

業務を円滑に進めるためのシミュレーションを行った

(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください

定期的に育休制度があることを発信する

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間：通算 19日間

2 育児休業の取得について

(1) 育児休業を取得したきっかけ

今回2人目の子が生まれたので育休を取りました。1人目は以前の会社に勤めていた時に生まれたのですが、その時は育休を取得しなかったこともあり、機会があればとってみようかなと思っていました。そんなとき、「良かったら育休とってみたら」と会社や周りにも勧めてもらえたので、今回は取得することにしました。

(2) 育児休業を取得して良かったこと

まず、いつもより余裕をもって子供と接することができたのが良かったです。

また、仕事や育児の合間ではなかなかできないので、不要になった家電等の処分をしました。家の片付けができてさっぱりしました。

(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点

できる事はできるだけ済ませておく、ということも大切かもしれませんが、きっちり引き継ごうとすると、なかなか大変だと思います。

ですから、「簡単に説明ができる業務を選択して引き継ぐ」ことにしました。

昨今は連絡手段もいろいろとありますし、「何かあったら連絡してね」といった様に、割り切って考えることで、育休も取りやすくなるのではないかと思います。

(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること

育休から戻った際に、いつも何気なくやっている作業なのに、少し戸惑うことがありましたが、「(いつもこの方法だけど、) こっちでも良くないか?」と思えて、少し違った方法を試してみたということがありました。

一度、仕事を離れて、ゆっくりできたために気付けたと思います。

今後もそうした気付きがあったら、「いつもこうしてるから」とせずに、とりあえず試してみようと思いました。

(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス

育休はお盆や正月といった、普段のまとまった休みより、ゆったりと家族とのコミュニケーションの時間が取れるので、よい経験となると思います。

取得可能な期間であれば、人それぞれに合った育休の取り方があると思うので、機会があれば一度取ってみるとよいと思います。